

<記者発表資料①>

令和3年2月18日 記者発表
2月22日 解 禁

総務部財政課

担当：課長 中尾 吉伸
内線：2450

令和3年度 当初予算(案)の概要

ポストコロナ時代の「希望」そして「夢」に向かって



三木駅舎完成予想図・モダン風デザイン

三木市 Miki City

1. 予算規模

☆ 一般会計予算は、前年度より2億円増加の334億3,000万円で、過去最大

☆ 全会計の予算規模は、前年度より約1億円(0.2%)の増加

(単位:千円)

		令和3年度当初予算(案)		令和2年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計		33,430,000	33,430,000	33,230,000	33,230,000	200,000	0.6%
特別会計	国民健康保険特別会計	9,345,000	9,345,000	9,422,000	9,422,000	△ 77,000	△ 0.8%
	介護保険特別会計	7,046,000	7,046,000	6,996,000	6,996,000	50,000	0.7%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,504,000	1,504,000	1,434,000	1,434,000	70,000	4.9%
	学校給食事業特別会計	280,000	280,000	282,000	282,000	△ 2,000	△ 0.7%
企業会計	水道事業会計	2,087,536	2,331,102	2,092,725	2,690,932	△ 359,830	△ 13.4%
	収益的収支	1,894,141	1,799,274	1,960,783	1,809,465	△ 10,191	△ 0.6%
	資本的収支	193,395	531,828	131,942	881,467	△ 349,639	△ 39.7%
	下水道事業会計	4,226,558	5,125,490	4,024,404	4,903,763	221,727	4.5%
	収益的収支	2,543,971	2,503,892	2,598,106	2,547,424	△ 43,532	△ 1.7%
	資本的収支	1,682,587	2,621,598	1,426,298	2,356,339	265,259	11.3%
合 計		57,919,094	59,061,592	57,481,129	58,958,695	102,897	0.2%

2. 一般会計予算の特徴

～ ポストコロナ時代の「希望」そして「夢」に向かって ～

地域資源のフル活用

- ゴルフの聖地として全国にPR。ゴルフを核としたまちづくりの推進
- 酒米山田錦の更なるブランド化の推進

観光・交流

- 山田錦の郷活性化の推進
- 自転車を活用したサイクルツーリズムの推進

教育のまち

- 統合校の円滑な運営と新たな統合に向けた準備
- オンライン学習推進のための環境整備
- 外国人児童、生徒へのサポートの充実

まちの経営

- 公共施設再配置方針に基づく、公共施設再配置の推進
- 吉川支所の再配置

雇用の創出

- ひょうご情報公園都市の整備の促進
- コロナ禍における三木金物ブランド戦略の推進



3. 一般会計予算（目的別）

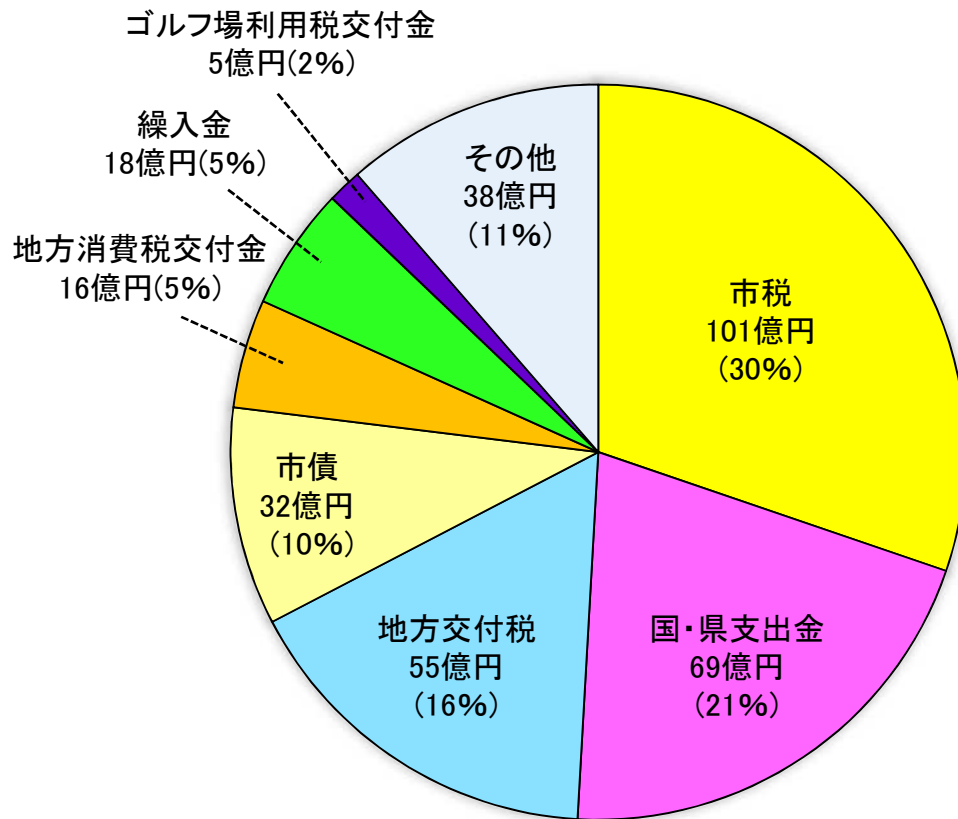
- ☆ 総務費(38.2億円)は、令和3年度に予定されている衆議院・県知事・市長選挙の費用などで、前年度比3.9億円(11.5%)増
- ☆ 衛生費(24.1億円)は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種費用などで、前年度比1.4億円(6.3%)増
- ☆ 公債費(44.5億円)は、令和2年度にコロナ禍の資金調達で発行する猶予特例債の償還などで、前年度比6.3億円(16.5%)増

目的	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総務費	38.2億円	34.3億円	3.9億円	11.5%	ふるさと納税返礼品や各種選挙費などの増
民生費	123.4億円	123.9億円	△ 0.5億円	△ 0.4%	
衛生費	24.1億円	22.7億円	1.4億円	6.3%	新型コロナウイルスのワクチン接種費などの増
農林業費	6.7億円	6.7億円	0.0億円	△ 0.2%	
商工費	12.7億円	12.5億円	0.2億円	1.6%	山田錦の郷の活性化事業などの増
土木費	21.8億円	24.1億円	△ 2.3億円	△ 9.3%	国補助金を活用するため令和2年度に前倒した事業などの減
消防費	9.5億円	14.3億円	△ 4.8億円	△ 33.6%	高機能消防指令システムや防災行政無線の更新費用などの減
教育費	31.0億円	32.7億円	△ 1.7億円	△ 5.2%	吉川町公民館の耐震化工事などの減
公債費	44.5億円	38.2億円	6.3億円	16.5%	令和2年度に発行した猶予特例債(2億円)や借換債の増(4.9億円→7.3億円)などによる償還額の増
諸支出金	17.8億円	18.6億円	△ 0.8億円	△ 4.1%	
その他	4.6億円	4.3億円	0.3億円	6.9%	勤労者福祉センターの空調改修などの増
合計	334.3億円	332.3億円	2.0億円	0.6%	

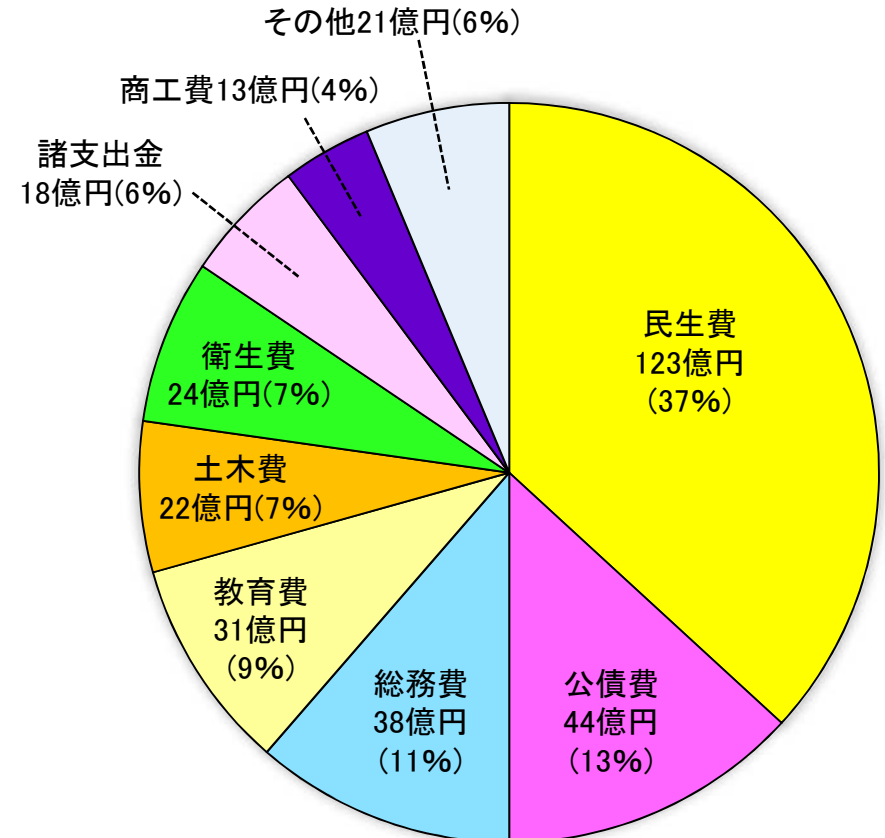
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算 (内訳)

歳入(約334億円)



歳出(約334億円)



5. 特別会計

国民健康保険

93億4,500万円（前年度比 $\Delta 7,700$ 万円、 $\Delta 0.8\%$ ）

- ☆ 加入者の減少に伴い、予算額減
- ☆ 財政状況改善に向けて財政健全化計画の策定
- ☆ 財政支援のため一般会計から約2.4億円を繰入

介護保険

70億4,600万円（前年度比 $+5,000$ 万円、 $+0.7\%$ ）

- ☆ 第8期介護保険事業計画(R3年度から3年間)の初年度で、認知症施策や、フレイル予防・介護予防などを推進
- ☆ 介護保険の剰余金を活用し、65歳以上の介護保険料を引き下げ(6ページ参照)

後期高齢者医療事業

15億 400万円（前年度比 $+7,000$ 万円、 $+4.9\%$ ）

- ☆ 加入者の増加に伴い歳入・歳出ともに増
- ☆ 保険料は令和2年度に改定したため、据え置き
次回改定は令和4年度(2年ごとの見直し)

学校給食事業

2億8,000万円（前年度比 $\Delta 200$ 万円、 $\Delta 0.7\%$ ）

- ☆ 市内産野菜の使用などにより地産地消を一層進めるため、一般会計からの繰入金が増(350万円)
- ☆ 児童・生徒数の減少にともない歳入・歳出ともに減

特別会計予算総額

令和3年度	令和2年度	対前年度	
		増減額	増減比
181.7億円	181.3億円	+0.4億円	+0.2%

介護保険料の引き下げ

(健康福祉部介護保険課)

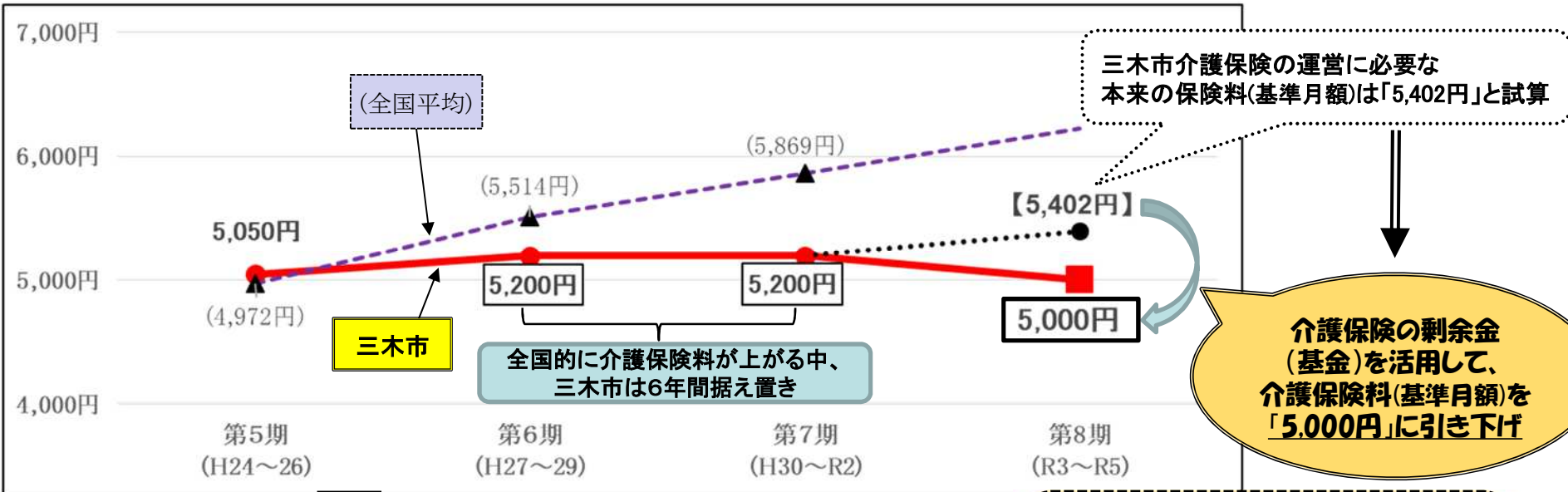
令和2年度までの三木市の介護保険料(基準月額)は5,200円で、県内29市のうち4番目に安い水準となっていました。

令和3年度は、3年に一度の65歳以上の方の介護保険料の見直しの年となっています。

三木市の要介護認定率は8年連続で県内の市で一番低い状況で、介護保険の剰余金(基金)があることから、それを活用して、令和3年度から令和5年度の介護保険料(基準月額)を、現在の5,200円から5,000円へと200円引き下げ、県内29市で最も安い介護保険料となる見込みです。

三木市の介護保険料(基準月額)の推移

※基準月額の対象者(第5段階)は、「市民税課税世帯であるものの、本人が非課税であり、前年の課税年金収入額と合計所得金額が80万円以上の方」をいいます。



介護保険料の引き下げ額

月額 Δ 60円 ~ Δ 400円 (基準額: Δ 200円)

年間 Δ 720円 ~ Δ 4,800円 (基準額: Δ 2,400円)

(引き下げ額は、世帯や本人の収入状況により変わります)



三木市の要介護認定率は、8年連続で県内29市で一番低くなっています！
引き続き「みっきい☆いきいき体操」などの介護予防に取り組みます！

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

23億3,110万円 (前年度比 Δ 3億5,983万円、 Δ 13.4%)

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ アセットマネジメントの作成
- ◆ 経営戦略の見直し
- ◆ 配水池ポンプ場等の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道受水費

下水道事業

51億2,549万円 (前年度比 +2億2,173万円、+4.5%)

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化及び適切な管理運営
- ◆ 農業集落排水施設の適切な管理運営
- ◆ 下水道処理施設の浸水対策
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金
- ◆ マンホール点検・管渠調査
- ◆ 経営戦略の見直し

企業会計予算総額

令和3年度	令和2年度	対前年度	
		増減額	増減比
74.6億円	75.9億円	Δ 1.4億円	Δ 1.8%